

平成 30 年 9 月 26 日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 三浦 信樹

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2018年8月データについての報告～
(データ集計日：2018年9月24日 集計対象施設数：59施設)

VRSA、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

<VRE の分離状況について>

2018年8月は中信地区で1件のVREの分離がありましたが、染色体性の *VanC* 遺伝子保有株
の検出でした。

<MRSA の分離状況について>

長野県全体の分離率は6.82%でした。JANISでの全国の分離率は6.31%（2017年7月～9月
四半期報）であり全国より高い水準です。北信地区以外は先月と比較し、分離率の上昇を認めて
おります。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は0.04%でした。JANISでの全国の分離率は0.05%（2017年7月～9月
四半期報）でした。北信地域と中信地域で1株ずつ検出されています。なお、1例でも分離が認
められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は3.02%でした。東信地区では分離率の上昇を認めており、北信地区では
分離率の低下を認めております。JANISでの全国の分離率は2.32%（2017年7月～9月 四半期
報）でした。JANISで2015年集計分より用いられている第三代セファロスポリン耐性大腸菌
の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一
概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、
感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者ま
でお問合せください。

【SICSS のデータを用いた学術活動について】

SICSS のデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者
までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子
TEL: 0263-37-3493、 e-mail: erika@shinshu-u.ac.jp